

2022. 4. 28
発行：平和憲法・9条をまもる
岩手の会 実務者会議
連絡先 県生協連・県消団連
TEL 019-684-2225
FAX 019-684-2227

《岩手大学内で宣伝署名行動実施》 —松園9条の会など—



4月20日のお昼時に、新入生であふれる岩手大学中央食堂前で署名宣伝を実施。署名は41筆、チラシは100枚以上配布しました。合わせて、シール投票も実施。ロシアのウクライナ侵攻には「反対」、核兵器禁止条約に日本は署名・批准すべきかは「賛成」が圧倒的が多かったです。9条改憲に対しても「反対」が多かったです。が、「わからない」という学生も多く、まだまだ訴えて続けなければいけないことを実感しました。



《花見会場で宣伝行動》一緑が丘地域9条の会

盛岡市高松の池口で、お花見に来た方々への宣伝を行い、60枚ほどのチラシを配布。また、天候不良や会場変更で中止したところもありますが、近隣の高校の卒業式や入学式に合わせた宣伝も、松園9条の会とともに毎年行っています。



《商店街アーケード前で毎月宣伝》—憲法・9条を守る河南の会

盛岡市肴町アーケード前で、毎月 9 日を中心に行動をしています。宣伝ボードや「これが日本国憲法の平和の核心『前文』と『第 9 条』です」というチラシを作り、宣伝を行っています。



返信封筒付き署名用紙の地域配布も進行中！90通304筆分が返送（～4月27日）

水沢・憲法九条をまもる会、北上「九条の会」、平和憲法・9条を守る都南の会、松園9条の会、緑が丘地域9条の会、矢巾九条の会などで署名用紙の地域配布をすすめています。

盛岡では、9条の会のない地域への一斉配布行動を4月24日に実施。約1,000軒に署名を投函しました。このほか、憲法改悪反対岩手県共同センターや平和環境岩手県センターでも地域を決めて配布を実施中です。

歩くにはいい季節になりました。運動がてら、各 9 条の会で地域配布をよろしくお願いします。



＜お知らせ＞ ※いずれも、参加申込・お問い合わせ・ご注文は岩手県生協連まで

①岩手版「憲法改悪を許さない全国署名」用紙の地域配布をすすめましょう！

切手不要の返信用封筒（宛先：岩手県生協連）もありますので、ホチキス留めをして配布に活用ください。

②2022 年九条の会・東北交流会（オンライン）開催 5 月 21 日（土）13:00～15:30

「憲法の役割と市民連合の運動」 広渡清吾さん（東京大学名誉教授・市民連合呼びかけ人）の講演や、各県・市町村長の会の活動報告を実施。 参加無料 参加締切：5/13

※参加希望の方に ID、パスコードをお送りしますので、メールアドレスをお知らせください。

＜盛岡では当日会場をとって大画面で視聴します＞ 会場：盛岡市プラザおでって大会議室

◇オンライン、会場参加とも、申込は岩手県生協連まで。

組合運動と平和運動はつながっている

—日本医労連主催

「第16回憲法・平和学習交流集会」—

2月13日(日) オンライン併用で開催され、4全国組合19都道府県医労連20単組支部56名が参加しました。ここ数年では一番参加者が多かったそうです。

講演は、「労働組合が、なぜ平和の課題に取り組むのか」と題し、岡山県労働者学習協会の長久啓太さん。第2次世界大戦時、昭和19～20年の2年間で多くの人が亡くなっていて、もっと早く終戦していれば多くの犠牲者は生まれなかったこと、その戦争から日本は、憲法前文と9条で不戦を、世界の人・未来に向けて約束したことが語られました。また、戦争の始まりは「個」を消し、人間を人間と思わなくさせる事から始まる、だからアウシュビッツ収容所では名前で呼ばず番号で呼び、あんなに悲惨なことが起きたんだとの事でした。

戦争の事実を学び、個人個人の生活が失われていたことを想像する、想像力がなければ平和運動はできない、組合運動と平和運動はつながっているとのお話でした。

その後、分散会で自分たちの取り組んでいる平和活動の交流をしました。全厚労では「ピースウェーブ」といって、「なくそう核兵器」の旗をもって集合写真を撮る取り組みがされています。組合員だけではなく、病院長なども参加しているとの報告でした。

また、日本医労連で取り組み始めた「地元 de 平和ツアー」(地元の戦争体験者の方からお話を聴く)について、再度提起されました。

その2週間後にロシアがウクライナ侵攻を開始し、平和であり続けることの難しさを感じました。(鈴木寿子)



—ロシアの「ウクライナ侵略反対」の声の中で見落としてはならず…—

ご存知のとおり今ロシアによる「ウクライナ侵略」反対の声が世界中で渦巻いております。その中でこれは何だと思わざるを得ないことがあります。

その一つは「バイデン米政権が(3月)28日、2023会計年度(‘22年10月～23年9月)の予算編成方針を示す予算教書を発表した」とのこと。ウクライナに「侵攻」するロシアや中国への対抗を背景に、国防予算を過去最大規模に拡大し、前年度比4%増の8133億ドル(約100兆円)にするという。また米エネルギー省が管理するネバダ核実験場(ネバダ国家安全保障施設、NNSS)がまとめた2021年活動報告は、同年にロスアラモス国立研究所と協力して「1年間としては最高の3回にわたる未臨界核実験(爆発を伴わない核実験)を実施した」と明らかにしたとのこともあります。

いずれも日本のマスコミなどが大きく「諫める」こともなく、しかしこれは「平和を願う」国際社会の声を逆なでするものではないでしょうか。

日本の国民運動はロシアの「ウクライナ侵略反対」の声の中でこれを見落としてはならず、「アメリカは軍備増強を止めよ!」「アメリカは核の近代化を止めよ!」と「諫め」の声をあげることが求められると思います。

アメリカを「ALL OR NOTHING」でみるのは間違い、すなわち「アメリカは民主主義国だからすべてがよい、あるいはアメリカは民主主義国と言い難いからすべてが悪い」と見てはならず、そうではなく「CASE BY CASE」でみる、すなわち「是は是、非は非」としっかり見分けしてみなければならぬ、そうしないとアメリカを見誤ることになることに留意しなければならないと思います。(T)

「5月の街宣署名行動」

5月9日(月)12:15～12:45

盛岡市大通・野村証券前

「憲法改悪を許さない全国署名」を呼びかけ、人との距離を保って宣伝を中心に行います。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

